

公共下水道事業会計

令和3年度予算の概要について

令和3年度予算について

▶ 予算編成における基本的な考え方

- 「川越市上下水道ビジョン」及び「川越市上下水道事業経営戦略」に掲げる事業の着実な執行を図れるよう取り組みました。
- 厳しい経営状況が見込まれる中、事業の安定性と将来にわたる継続性を確保しつつ、更なる経営の効率化を図り、経営基盤の強化に取り組みました。

▶ 収益的収支

- 収入については引き続き債権徴収に厳正に対応することによる収納率の向上や、資産の有効活用による収入の確保に努めました。
- 支出については維持管理コストの縮減や平準化による支出の削減に努めました。
- 令和2年度に引き続き厳しい財政状況のため、令和2年度当初予算より厳しい予算査定により純利益を確保しました。

▶ 資本的収支

- 経営戦略で策定した投資計画に基づき、建設改良費を計上しました。
- 入札不調等で執行できなかった工事等を実施できるよう予算を確保しました。

収益的収支（3条予算）

【税抜き】

（単位：円）

科目	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	令和2年度決算額
下水道事業収益	6,025,290,000	6,282,230,000	6,114,626,837
営業収益	4,270,108,000	4,324,012,000	4,161,352,825
（うち下水道使用料）	(3,256,123,000)	(3,254,384,000)	(3,213,820,363)
営業外収益	1,735,099,000	1,850,478,000	1,842,220,944
特別利益	20,083,000	107,740,000	111,053,068
下水道事業費用	6,012,163,000	6,232,581,000	6,007,505,505
営業費用	5,632,573,000	5,777,715,000	5,585,135,725
営業外費用	351,225,000	402,269,000	375,477,951
特別損失	23,365,000	47,597,000	46,891,829
予備費	5,000,000	5,000,000	0
当年度純利益	13,127,000	49,649,000	107,121,332

収益的収支の主な内容

▶ 下水道事業収益（60億2,529万円）

下水道使用料 32億5,612万3千円

⇒下水道使用料は人口推計値等により算出した結果、前年度当初予算に比べ微増。

▶ 下水道事業費用（60億1,216万3千円）

雨水ポンプ場維持事業 2億8,340万3千円

⇒雨水ポンプ場の機能を維持するための事業。

◎主な内容：雨水ポンプ場及び汚水中継ポンプ場施設運転管理業務委託（雨水分）

（1億428万円）

霞ヶ関第二雨水ポンプ場天井クレーン修繕（2,250万円）

下水道使用料徴収事務負担金 1億6,083万3千円

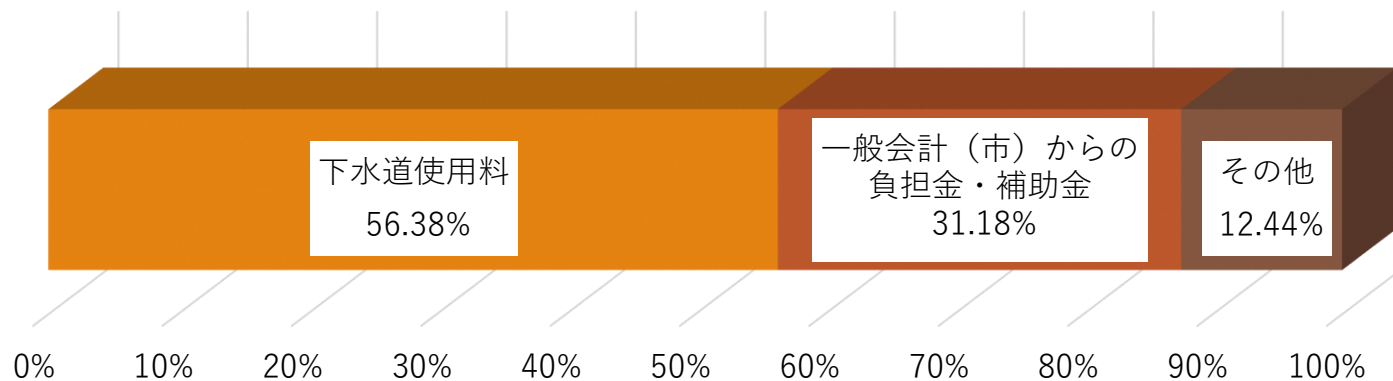
⇒水道事業会計で合わせて行っている下水道使用料徴収事務に対する負担金。

流域下水道維持管理負担金 14億4,000万円

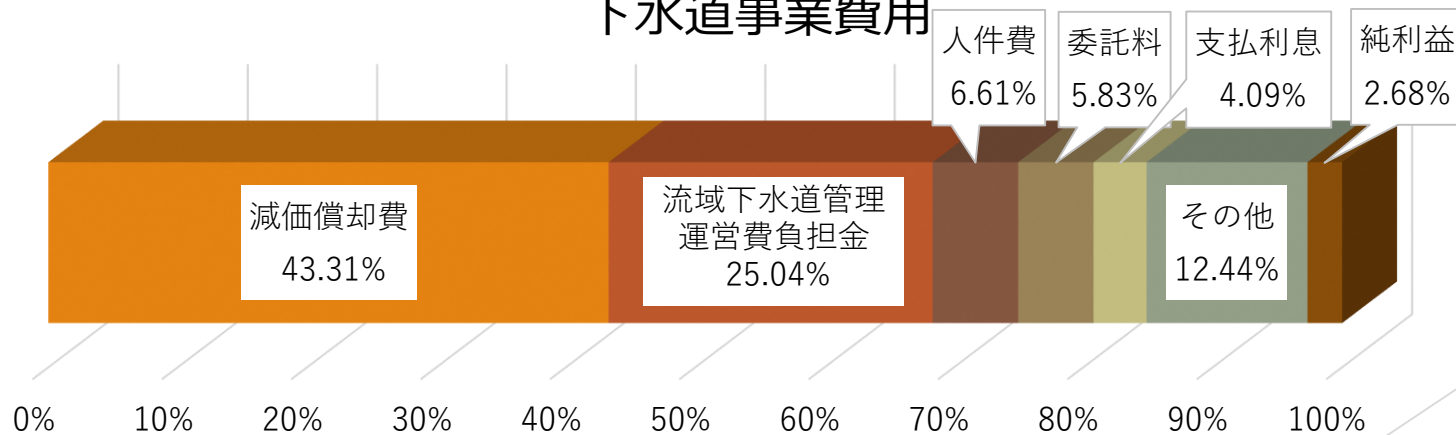
⇒汚水処理を行っている荒川右岸流域下水道の管理運営費に対する負担金。

収益的収支の構成比率

下水道事業収益



下水道事業費用



資本的収支（4条予算）

【税込み】

（単位：円）

科目	令和3年度当初予算額	令和2年度当初予算額	令和2年度決算額
資本的収入	808,597,000	869,807,000	963,493,127
企業債	600,000,000	600,000,000	555,900,000
国庫補助金	34,000,000	65,000,000	97,970,000
工事負担金	0	33,300,000	38,494,040
受益者負担金	33,000,000	9,300,000	65,849,880
分担金	9,300,000	69,959,000	69,433,407
他会計負担金	72,627,000	92,247,000	135,433,000
他会計補助金	59,670,000	1,000	16,500
固定資産売却代金	0	0	396,300
資本的支出	3,328,385,000	3,391,964,000	2,922,496,418
建設改良費	2,141,928,000	2,200,103,000	1,735,638,147
企業債償還金	1,181,457,000	1,186,861,000	1,186,858,271
予備費	5,000,000	5,000,000	0
資本的収支の不足額	2,519,788,000	2,522,157,000	1,959,003,291

資本的収支の主な内容

▶ 資本的収入（8億859万7千円）

企業債 6億円

⇒ 経営戦略に基づき資金調達額を決定。

資本的収支の不足額 25億1,978万8千円

⇒ 消費税資本的収支調整額（1億5,715万5千円）、
損益勘定留保資金（23億6,263万3千円）で補填。

▶ 資本的支出（33億2,838万5千円）

新宿町二丁目下水道管路施設更生事業（令和2年度～4年度継続事業） 1億5,000万円

岸町一丁目下水道管路施設更生事業（令和元年度～3年度継続事業） 5,540万円

污水管渠改良事業 5億1,918万9千円

⇒ 老朽化した下水道施設の長寿命化等を計画的に推進する事業（1,260m）。

污水管渠整備事業 5億7,748万2千円

⇒ 污水管渠の築造工事を行う事業（3,500m）。

資本的収支の構成比率

